

みずほCustomer Desk Report 2018/01/12号(As of 2018/01/11)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.52
TKY 9:00AM	111.46	1.1955	133.22	1.3511	0.7846
SYD-NY High	111.88	1.2059	134.35	1.3554	0.7894
SYD-NY Low	111.05	1.1929	133.09	1.3458	0.7838
NY 5:00 PM	111.25	1.2032	133.87	1.3542	0.7891
NY DOW	25,574.73	205.60	日本2年債	-0.1300	0.00bp
NASDAQ	7,211.78	58.20	日本10年債	0.0700	▲1.00bp
S&P	2,767.56	19.33	米国2年債	1.9786	0.41bp
日経平均	23,710.43	▲77.77	米国5年債	2.3234	▲0.66bp
TOPIX	1,888.09	▲4.02	米国10年債	2.5358	▲2.19bp
ソコ日経先物	23,795	155.00	独10年債	0.5150	4.35bp
ロンドンFT	7,762.94	14.43	英10年債	1.3080	2.20bp
DAX	13,202.90	▲78.44	豪10年債	2.7155	2.45bp
ハンセン指数	31,120.39	46.67	USDJPY 1M Vol	6.73	▲0.30%
上海総合	3,425.34	3.51	USDJPY 3M Vol	7.41	▲0.12%
NY金	1,322.50	3.20	USDJPY 6M Vol	7.78	▲0.09%
WTI	63.80	0.23	USDJPY 1M 25RR	-0.83	Yen Call Over
CRB指数	195.16	0.33	EURJPY 3M Vol	8.18	▲0.08%
ドルインデックス	91.89	▲0.44	EURJPY 6M Vol	8.28	0.00%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月11日	9:30	豪	小売売上高(前月比)	11月 1.2% 0.4%
	21:30	欧	ECB議事要旨「2018年はじめからガイダンスの緩やかな変更を検討する可能性」	
	22:30	米	PPI(前月比/前年比)	12月 -0.1%/2.6% 0.2%/3.0%
	22:30	米	新規失業保険申請件数	- 261k 245k
1月12日	5:30	米	ダドリー・ニューヨーク連銀総裁講演「FRB緩やかな利上げ継続へ」	

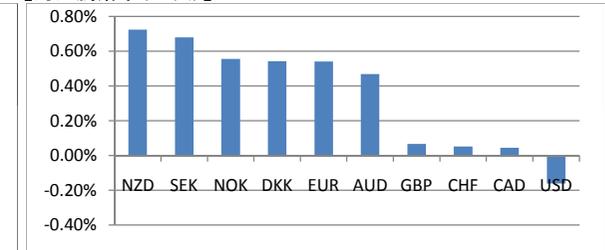
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月12日	8:50	日	経常収支	11月 ¥1836.1b ¥2176.4b
	未定	中	貿易収支	12月 \$37.00b \$40.21b
	22:30	米	CPI(前月比/前年比)	12月 0.1%/2.1% 0.4%/2.2%
	22:30	米	CPIコア(前月比/前年比)	12月 0.2%/1.7% 0.1%/1.7%
	22:30	米	小売売上高(前月比)	12月 0.5% 0.8%
1月13日	2:00	米	ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁講演	- -
	6:15	米	ローゼングレン・ボストン連銀総裁講演	- -

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.00-112.00	1.1950-1.2100	133.00-134.50

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は軟調推移。東京時間に中国当局から前日の外貨準備の米国債投資に関する報道は誤りと声明が発表されるとドル円は111円台後半まで上昇。しかし米新規失業保険申請件数が4週連続で増加する結果となったことに加えて米12月PPIも市場予想を下回り、米30年債入札が非常に好調な内容となり米金利が低下したことが相俟ってドル円は111円台前半まで下落する展開となった。本日のドル円は一定のレンジ内での上値の重い展開を予想する。本日は米12月CPIや米12月小売売上高などの主要指標の発表を予定しており、その内容次第の反応となりそうではあるが、引き続き日銀の出口戦略が意識されている状況にドル円は上値の重い展開が基本線となりそうだ。

東京	東京時間のドル円は111.46レベルでオープン。日銀による国債買入れオペの金額が据え置きとなると、ドル円は反発する展開。また、前日材料視された「中国が米債投資を縮小または停止する」との報道について、中国当局が否定したこともサポート材料となり、111.84まで上昇した。結局、111.74レベルで海外市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は111.74レベルでオープン。日銀が買入れ額を減額せず、据え置いたことが意識され、一時111.88まで上昇。111.68レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1946レベルでオープン。昨年12月14日開催のECB理事会議事録では、「リル続けば、言い回しの変更が必要」「2018年初めからガイダンスの緩やかな変更を検討する可能性」等が効派的と受け止められ、1.2013まで上伸。1.2003レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3494レベルでオープン。中国が米債投資削減報道を否定したことでドルに買戻しが入り、ポンドは軟調に推移。Brexitを巡っても、「48.2万人の雇用が失われ、特に金融業では11.9万人となる」との試算が示され、英国のEU離脱を問う国民投票で離脱派の中心的存在だった Farage 元英独立党党首が、国民投票を再実施すべきとのツイートを発信。即座に英首相報道官から「EU巡る2度目の国民投票を行うことはない」と声明が発せられたが、Brexitを巡って英政局に一層の混迷が深まったことでポンドは1.3458まで下落。1.3484レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフィール 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	NY時間のドル円は111.68レベルでオープン。朝方発表された米12月PPI最終需要が予想を大きく下回ったことからドル売りが強まり111.40まで下落。その後も米金利低下を横目にドル円はじり安の推移が続き、111.32まで下落した。その後行われた米30年債入札が前日の米10年債入札に続き堅調な結果となると、米金利低下と共にドル売りが一段と強まり安値111.05まで下落。しかし111円台を割り込むことは無く、ダドリー・NY連銀総裁の「緩やかな利上げの証拠は依然強い」との効派的な発言もあり、111.24まで反発した。米株が堅調に推移する中、その後は徐々に値を戻し111.25レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.2003レベルでNYオープン。弱い米12月PPIを受けてドル売りが強まりユーロドルは高値1.2059まで上昇。しかし、この水準ではユーロ売り意欲も強く、その後は1.20台前半での推移が続き、1.2032レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 鶴田・西谷